



日本酒を試飲



久保刀匠と交流



竹屋饅頭で年中行事の説明を受ける

2日目 11月22日(日)

東城の町並み散策と日本刀鍛錬道場見学

遅めの朝食の後、ボランティアガイドの地子給玄朗さんの案内で、東城の町並み散策。

北村醸造場では、昔ながらの酒蔵を案内してもらいながら、醸造の過程を学びました。楽しみにされていた日本酒の試飲では、1本1本説明を受けながら、味の違いを堪能していました。全国各地の酒蔵へ行ったという参加者の1人は「東城のお酒はきれいだね」と感想をもらっていました。

東城の町並みを約1時間かけて散策し、昼食は西城町にあるレストラン「かじや」で新しく開発したメニュー

「陰陽五行御膳を提供。比婆牛やゴギなど、庄原市らしい食材をふんだんに盛り込み、5色を料理で表現した膳を存分に味わいました。」

午後からは西城町で日本刀鍛錬道場を構える久保善博刀匠のもとへ向い、特別に日本刀を見せてもらいました。参加者は「初めての経験でどんなふうか」と戸惑った様子。予想以上の重さに驚き、昔はこれを本当に腰から下げて持ち歩いていたのかと驚いていました。この他にも玉鋼を持ってみたり、明珍火箸風鈴の音色に聞き入ったり、久保刀匠との交流を楽しみながら日本の伝統文化に触れました。

夕方、食彩館「ゆめさくら」と庄原パッセンターへ参加者を見送り、モニターツアーを終了しました。

東城の町並み散策と日本刀鍛錬道場見学

2日目 11月22日(日)



東城の町並み散策



陰陽五行御膳



笹の葉をそろえる作業



熊野神社

比婆荒神神楽(穴光久夫さん撮影)

設立準備室 吉川理恵企画員のモニターツアー日記 「地元住民と楽しむ神楽」

1日目 11月21日(土)

神楽準備と比婆荒神神楽観賞

ツアー初日、時折小雨の降る中、参加者10人と一緒に庄原バスセンターを出発。最初に訪れたのは西城町の熊野神社。胸高幹囲5尺以上の老杉群を見上げた参加者は、いきなり圧倒された様子。参拝後は、イザナミ茶屋で温かいお茶を用意してもらい、ツアー参加者と比婆山の話や地元の話で盛り上がりました。

昼食は同町三坂地区にある「峠の茶屋やまびこ」の看板メニュー「ヒバゴン丼」。地元でとれた山菜の小鉢も好評で、山菜の保存方法などを教えてもら

い、興味深く話に聞き入っていました。昼食後、東城町小奴可地区の奴可神社へ。広島県に神楽団は数多く存在しますが、国の重要無形民俗文化財に指定されているのはたったの1つ。それが西城・東城地域で古くから伝わる比婆荒神神楽です。奴可神社では、大正4年(1915年)から毎年、比婆荒神神楽を奉納しています。

中島好昭宮司から神社の歴史や比婆荒神神楽の説明を聞き、その晩行われる神楽の準備を手伝いました。手伝ったのは、神楽の最後に舞う「旗分け」で使う土公幡(五色旗)を結ぶ笹の葉をきれいにそろえる作業。190本もの笹を準備し、参加者は「こんな経験はしたことがない。とてもいい思い出になる」と喜んでいました。

宿泊先の帝釈峡観光ホテル錦彩館で夕食を取り、再び奴可神社へ行き神楽鑑賞。翌午前2時まで比婆荒神神楽の迫力ある舞を堪能しました。同行した「旅の手帖」(交通新聞社)の大村嘉正記者は「地元の人たちと一緒に神楽を楽しむこの雰囲気すがすがしい。神事では身が引き締まる思いがした」と絶賛でした。



熊野神社

比婆荒神神楽(穴光久夫さん撮影)

グリーンツーリズム商品コンテスト優秀賞 「古事記の里で夜神楽を楽しむ！1泊2日の旅」

グリーンツーリズム商品コンテスト優秀賞

観光公社設立準備室と(有)道後観光が共同企画した庄原発着のバスツアー「古事記の里で夜神楽を楽しむ！1泊2日の旅」が、オーライ！ニッポン会議主催の「グリーンツーリズム商品コンテスト」で優秀賞に輝きました。

観光公社設立準備室では、庄原市の農村資源を全国へアピールしようとしてコンテストに応募。全国から応募があった66件の中から、企画内容と共に消費者の目線で商品の魅力をアピールするストーリー性と表現力が高いと評価。表彰状と助成金50万円を受け取りました。

今月は、観光公社設立準備室が実施したこのツアーの様子を紹介します。

地域にあるものを観光資源に

参加者アンケートでは、ツアー全体の印象として全員が「よい」または「どちらかといえばよい」と回答。特に8割の人が「神楽の手伝いと比婆荒神神楽観賞」を「とても満足」と回答され、改めて地域資源の価値の高さを感じました。

このツアーの実施にあたって、多くの方に協力をお願いいただき大変ありがとうございました。今回モニター

ツアーの詳しい様子は「旅の手帖」(交通新聞社)3月号で紹介される予定です。

今後も観光公社設立準備室では、里山の文化や農村資源を生かし、地域の人との交流や体験といった五感で感じて楽しめる地域密着型のツアーを企画していきたいと思えます。このようなツアーには、地元の人々の協力が不可欠です。地域の情報や市民の皆さんのアイデア、ご意見などお気軽にお寄せください。

問い合わせ 観光公社設立準備室
0824-723385